

# きぼう

2018年3月10日  
藤野「福まち」広報誌

第22号

●発行／藤野地区社会福祉協議会

●企画／藤野地区福祉のまち推進センター広報啓発班

## 風景写真を撮り続け 20年 大室 昭夫さん(三区町内会)



私が藤野に移り住んだ昭和49年頃は、住宅は疎(まば)らで道路や上下水道も整備されておきませんでした。

市内中心部に通じる国道230号線は渋滞し、特に朝夕のラッシュ時の通勤・通学に大変不便を感じておりました。

現在は交通網も整備され、路線バスが藤野通りに乗り入れられ、緑豊かで大変住みよい街になっております。

平成8年10月、勤務先を65歳で退職いたしました。当時行きつけの喫茶店の経営者(写真が趣味)と退職後の過ごし方など雑談していたところ、居合わせたカメラ店の幹部から「写真クラブ」への入会を勧められたのがきっかけで、趣味として写真を撮りました。

以来「写真クラブ」の撮影ツアーに参加するほか、春の新緑や秋の紅葉シーズンには近郊の公園などへカメラ機材を背負って撮影に出かけております。



特に「アシリベツの滝」へは虹のかかる風景が気に入り度々足を運んでおります。

虹がかかるのは、10月の午前9時30分前後20分～30分と短く、かつ、光の差し込む晴天が絶対条件で、せっかく出かけても曇天のため虹がかからず、引き返したこともありました。

★ ★

写真を撮り始めたころはせいぜい10年くらい続けられればと思っておりましたが、写真クラブの仲間や家族の協力で20年が過ぎました。

これからも体調に合わせ、無理をしないで希望をもって撮り続けたいと想っております。

(取材 船越)



平成29年度

# 「ふじの子育てサロンフェスタ」

藤野地区にある9つのサロンが大集合！



平成29年11月26日（日） 藤野地区センター・アリーナ

「ふじの子育てサロンフェスタ」は多くの団体が組織した実行委員が主催して、藤野地区の8つの子育てサロンが集合して開催されました。

チラシプール、さかなつり、まつぼっくりツリー、サイバーホール、わにたたき、絵合わせ、けん玉、積み木など、たくさんのコーナーが設けられ、参加した子どもたちは歓声をあげながら好きなコーナーで遊びに興じました。特に人気のチラシプールでは、たくさんのお友だちときざんだチラシをかけあっていました。また、新しい遊び「サイバーホール」では、ホイールの中に入った子どもたちの歓声が絶えませんでした。このほかに健康測定コーナーが設けられ、お母さんやお父さんは基礎代謝量、筋肉と脂肪の割合、身体バランス、体脂肪率などを測定し、健康状態をチェックしていました。子どもから大人まで楽しめたフェスタとなりました。（取材 清野）



▲サイバーホール



▲さかなつり



◀ワニたたき

明清高校の生徒さんたちも  
お手伝いで来てくれました▼

▼チラシプール





平成 29 年度「藤野地区ふれあい交流会」

# 民謡のしらべ

平成 29 年 9 月 30 日（土） 藤野地区センター・アリーナ

平成 29 年度福まち主催の「藤野地区ふれあい交流会」は、江差追分全国大会で優勝されたこともある藤野在住の卯子澤 裕美さん<sup>うねざわ ひろみ</sup>をお迎えして「民謡のしらべ」と題して開催されました。地元ならではの親近感もあり、楽しいお話も交えながらプロの歌声を間近で聞くことができ、歌にあわせた手拍子が会場いっぱい集まった人々を心地よくさせていました。（取材 棚橋）



歌に合わせて  
手拍子



皆さん笑顔が  
こぼれます



江差追分全国大会優勝者／藤野在住の民謡界第一人者

出演 **卯子澤 裕美**

\*主 目\*

江差追分／道南口説節／津軽じょんがら節 他

\*出 演\*

卯子澤裕美（唄・お話） 成田 秀宝（尺八）  
泉 正蔵（三味線） 佐藤美穂子（太鼓・おはやし）



・プロフィール（卯子澤 裕美）

留萌市出身／日本民謡佐藤会副講師／（公財）日本民謡会教授／初代佐々木考流三絃道連合会大師範／雅号・考富士／平成7年青森津軽五大民謡大会じょんがら節優勝／平成8年第34回江差追分全国大会優勝／平成15年（公財）日本民謡協会全国大会内閣総理大臣賞争奪戦優勝／平成15年留萌市荣誉奨励賞／平成16年日本民謡フェスティバル2004グランプリ／平成18年（公財）日本民謡会民謡貢献賞受章 他多数



# ◆◆平成29年度藤野地区福まち研修会◆◆

## 第1回

### 「藤野地区福まち研修会兼 地域ケア会議」

日時 平成29年7月20日(木) 13:30～  
場所 藤野地区センター アリーナ

認知症に関する知識及び支援についての講話を特養老人ホームの認知症介護指導者の方からいただき、その後介護予防センターの方達により近接町内会を9つのグループに分けられ、南区の保健福祉部の方達も交えてテーマにそって検討し、「ふじの支え合い(支援)ネットワーク」構築の方法など意見や情報交換がなされ、最後にそれぞれの班での話し合いのまとめの発表と



なり、今後の活動に役立てられる情報を共有する事が出来ました。(取材 長壁)



## 第2回

### 「高齢者を取り巻く些細な問題を 個人町内会としてどのような方策をとり、 また行政を含めた関係団体と連携していくのか」

日時 平成30年1月29日(月) 13:30～  
場所 藤野地区センター アリーナ

超高齢社会に突入している藤野地区でも日常生活に関わる多くの問題(課題)が顕在化しているなか、どのような方策をとればよいのか、前回同様グループごとに、諸問題の書かれたカードを用いて地域としてできる事を考え、意見交換がなされ班ごとの発表となり、個人としてもどの程度できるのか考えさせられました。



(取材 長壁)



## 近隣同士でブロック構成 実践者交流会を開催

平成29年度ブロック別実践者交流会は

### 第一ブロック

(第一・第二・三区・団地自治・藤ヶ丘南)

### 第二ブロック

(中央・高台・高見台・野々沢・藤ヶ丘西)

### 第三ブロック

(本通・十五島・富士見・緑町・白川)

### 第四ブロック

(藤野公園・西藤野・東藤野・白樺)

の編成としました。

これはお互いに共通するテーマについて近隣同士の話し合いが出来るように配慮したものです。

南区は市内でも高齢化が進み超高齢化社会に入っております。この時代をどのように受け止め、地域が一体となって取り組むことが求められます。

(取材 佐藤)



# 「藤野いきいき元気フェスタ」



☆「ロコモってなに？」☆

平成 29 年 8 月 31 日（木） 藤野地区センター・アリーナ



今年で 2 回目となる「藤野いきいき元気フェスタ」は、総勢 140 名が参加して開催されました。最初は、定山溪病院理学療法士 橋本翔太・安藤 空 両氏の「ロコモってなに？」のお話があり、続いてデイサービス SUNDAY の健康運動の指導員 島 輝明氏による「リズムにのって楽しく体操」の指導を受け、これには皆さんも一汗かいたようです。

その後、「健康に関する質問を受ける相談コーナー」や新たなスポーツとして、いま注目されている「カーリンコン」についての体験コーナーが開設され、健康の大切さを改めて感じさせられた一日でした。

（取材 田中）



▲ 島指導員によるリズム体操 ▼



▲ 相談コーナー



▲ 体験コーナー



# 藤野緑町町内会



## オレンジスクールのご紹介

平成 27 年度に福祉推進委員会により、認知症予防教室として取り組みが始まった施策を、28年度からオレンジスクールと名称を変えて、札幌市南区第 2 地域包括支援センター及び介護予防センター定山溪のご協力のもとに、新たな視点に立って内容を見直して企画した取り組みです。

藤野緑町交流館「みどりん」で開催し、高齢の方々はもちろんのこと、その予備群も含めて、いまでは毎回 20 数名ほどの参加者があって盛大に開催されています。参加者は身体や手足、頭などを目いっぱい使って脳を刺激し、高齢の方々が陥りがちな、うつ（鬱）や物忘れなどを吹き飛ばしてしまおうということで、明るく笑い声の絶えない、和気あいあいの雰囲気の中で楽しく行われております。

(取材 石山・棚橋)



### オレンジスクール 平成29年度年間計画

- 5月10日（水） ふまねっと
- 6月14日（水） 脳年齢測定・脳ドリル
- 7月12日（水） あへあほ体操
- 9月13日（水） ふまねっと
- 10月11日（水） 転倒予防教室
- 11月 8日（水） 手先を使った作品作り
- 3月14日（水） お楽しみ会

脳ドリルにチャレンジ



あへあほ体操の様子



転倒予防教室の様子

ふまねっとの様子





～地域に密にふれあう施設をめざして～

# グループホーム 藤野の杜



～ 1周年を迎えて～

藤野の杜は平成28年10月1日にオープンし、1周年を迎えたばかりのまだ「若い」グループホームです。この緑豊かな藤野で地域と密接に触れ合う施設づくりをコンセプトに、開かれた施設として様々な情報を発信しております。

入居者は人生の大先輩です。家族と地域のつながりを大切に、入居者が誇り、培った能力や経験を発揮し尊厳のある暮らしができること、そのための環境づくりを行い支援することが務めです。

「言葉にしなくても隣にいてくれるだけで安心」と思っていたいただけるような関わりを目指しております。



お誕生会♪



健康教室でタオル体操



夏の滝野レクリエーション



アメリカンドッグで一息



学習発表会見学



風船パレーに真剣

藤野の杜では、四季折々の暦や行事に合わせ、レクリエーションを行っています。

毎日の体操やご近所の散歩をはじめ、車を使った外出レクリエーションでは、芸術の森での紅葉狩りや工芸体験、遠方では名水の地、京極町での水汲みなども行いました。また、地域の健康教室に参加したり、近隣の小学校へ学習発表会を見学に行ったりなど、地域に密着した施設づくりを目指し活動をしています。

(取材 石山)

グループホーム **藤野の杜**  
☎ 011-592-2525

〒061-2282 札幌市南区藤野2条7丁目5番1号  
じょうてつバス「藤野3条8丁目」より 徒歩5分  
受付時間：月～金 9:00～17:00

## 編集後記

広報誌「きぼう」平成29年度福まち広報誌コンクールで札幌市社会福祉協議会会長賞受賞！

昨年の札幌市人口動態によると10区全てが自然減でした。少子高齢化で南区や介護・支援など行政と協力して地域住民の支え合い活動、ボランティアによる福祉サービスの推進活動が大切になります。「遠くの親戚より近くの他人」「家族の次に身近な絆の町内会」が必要になっております。どうぞ「きぼう」を参考にしてください。(仙北)



# 〈サービス付き高齢者向け住宅〉 勤医協藤野高齢者専用住宅 みなみ風



個室38室、二人部屋2室、定員42名。最高齢は99歳、平均年齢は87.5歳。石山にある「もなみの里センター」と連携し、ケアマネージャーをはじめ介護事業所と相談しながら、本人のできることはこれからも継続していけるよう、本人の希望に添える生活ができる支援や体調管理などサポートしています。

誕生会、学習会をメインとした月1回の“みなみ風喫茶”を行っており、去年は外部の方たちの演奏会、ダンス会、地域の小学校とのふれあい交流などを楽しみました。

食事は塩分、カロリー等を考慮し、アンケートも行い、季節の行事食など、充実した献立になるように努力しています。週1回の移動販売店（菓子類、果物、衣服など）もあり、皆さんとても楽しみにしております。只今、「藤野ディサービス」（定員15名）の併設もあり、体操、交流、入浴などもできます。

（取材 吉成）



週1回移動販売



子どもダンスサークル公演



藤野南小（5年生）交流会



フルーツ演奏会



沖縄音楽演奏会



併設ディサービスふじの花見

〈サービス付き高齢者向け住宅〉

**みなみ風** 勤医協藤野  
高齢者専用住宅

ご相談  
ご連絡

☎011-594-3366

FAX 594-3365

札幌市南区藤野3条4丁目15番35号

## 「きぼう」第22号

発行人 飯盛禮子

編集者 仙北、船越、石山、田中（一）  
佐藤、清野、吉成、棚橋、長壁  
（連絡先 仙北 593-5960）

組版印刷 日光広告（株）（藤野 1-5）